



きっずるーむだより



第 61 号

令和 7 年 12 月 10 日発行

社会福祉法人ゆうゆう
きっずるーむ県庁別館



クリスマス飾りやイルミネーションで街が『キラキラ』としていますが、こども達も負けず劣らず「クリスマスはまだかな?」「サンタさんくるかなー」と目を『キラキラ』させています。そんな会話をこども達としながらきっずるーむで楽しく過ごしています。



年末の大掃除の歴史は『平安時代』と言われています。平安時代、宮中で 12 月 13 日に 1 年の煤(すす)をはらい神様を迎えるという『煤払い』という行事を行っていたことが起源と言われています。

大掃除をして気持ちよく『新年』と『幸せの神様』を迎え入れましょう。ちなみに、12 月 29 日は『苦』を連想されること、12 月 31 日は 1 日で終えるということもあり、神様をお迎えする準備が整わないので、大掃除を避けるという言い伝えがあります。

ご家庭ではご都合に合わせ、無理のない範囲で大掃除を進めてみて下さい。

きっずるーむでも感謝の気持ちを込めて大掃除をしています。



雪だるまは何段?

私達日本人が作る『雪だるま』は『頭部分』と『胴体部分』の 2 段の丸い雪で作るのが一般的ですが、欧米では 3 段の雪で作られるのが一般的です。

英語では雪だるまのことを『SNOW MAN(スノーマン)』と言うので、『頭』『上半身』『下半身』というイメージから 3 段かもしれません。逆に日本では『だるま』という単語のイメージから 2 段になっているかもしれません。

国によって違いが出るのは面白いですね。今年の冬も雪が降ったら素敵な雪だるまを作つてみてください。



子どもの様子

きっずるーむには素敵な木のおもちゃがたくさんあります。

A君(1歳6ヶ月)は、カタカタと音がなる木のおもちゃでよく遊んでいます。

最初はカタカタと上手く落ちず保育者に少し手伝ってもらい遊んでいますが、何回も遊ぶと自分で出来るようになりました。

出来た事が嬉しかったようで、満面の笑みで拍手をしていた A君。



1歳6ヶ月は自己主張が強くなり、自分でやりたいこと、やってほしいことを伝える時期もあります。

まだ上手にできないこともありますが、子どものやりたい気持ちを大切にし、

「失敗してもいい」「見守る」という気持ちで、様々な事に挑戦する姿を見守っていきたいですね。きっずるーむでもそんな関わりを心掛けた保育をし、子どもの成長を見守っていきます。



今年も残りわずかとなりました。

みなさまにとってはどうのような 1 年でしたでしょうか。

年末年始の楽しいお土産話をこどもたちから聞けるのを楽しみにしています。

来年もよろしくお願ひ致します。